

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野村 弘

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	3,473	7.9	174	22.1	208	16.1	272	168.9
26年9月期第3四半期	3,219	8.9	143	△19.4	179	△22.8	101	△33.5

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 272百万円 (168.9%) 26年9月期第3四半期 101百万円 (△33.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	75.43	74.96
26年9月期第3四半期	28.00	27.76

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年9月期第3四半期	3,973		1,895	47.4		523.14		
26年9月期	3,203		1,645	51.2		452.32		

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 1,884百万円 26年9月期 1,638百万円

(注) 1株当たり純資産の算出にあたり、期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年9月期	—	0.00	—		
27年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,461	10.8	131	86.1	164	47.3	245	313.2	67.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、周陽商事株式会社の株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	3,661,171 株	26年9月期	3,661,171 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	58,200 株	26年9月期	38,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	3,616,178 株	26年9月期3Q	3,622,619 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当四半期」という。）におけるわが国経済は、政府の各種経済政策および日本銀行の金融政策により、円安および株価の上昇傾向が続き、緩やかな回復基調となりましたが、その一方で、消費税率引き上げ後の個人消費の動きに力強さがなく、円安による輸入原材料の価格上昇ならびに欧州および中国などの海外経済の不安定感なども相まって、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業である菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業の業界におきましては、価格競争が激しさを増すとともに、小麦粉などの穀物価格の上昇により、厳しい状況が続いております。

このような外部環境のもと、当社は品揃えの充実および当社インターネット通販サイト「c o t t a」（以下「コッタ」という。）における取扱商品の増加およびレシピの充実などを図ることによって、非価格競争の取り組みを強化いたしました。

㈱プティパ（連結子会社）におきましては、前年の消費税率引き上げの影響などにより、100円均一ショップ向けのチョコレートペンの出荷量が前年同四半期を下回って推移いたしました。生産効率の改善を行うことで、利益率の向上に努めました。

また、平成27年1月には、周陽商事㈱の株式を取得し、連結子会社化いたしました。同社を通じて、コッタでの新たな仕入ルートの開拓などを行うなど、早急にシナジー効果を生み出せるように情報の共有化などを積極的に行っております。同年5月には、同社が経営している小売店舗とコッタとのコラボレーションによる販促活動も行いました。

さらに、㈱TUKURU（連結子会社）におきましては、インターネットサイト「m e l i k e y」（以下「ミーライキヤ」という。）を平成26年12月にリリースいたしました。平成27年3月より、コッタとのポイントの連携を開始しており、ミーライキヤの認知度向上および早期の収益化に取り組みました。

以上の結果、売上高3,473,915千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益174,797千円（同22.1%増）、経常利益208,096千円（同16.1%増）となりました。前年同四半期は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその後の反動減に見舞われましたが、当四半期におきましては、その影響が和らいだこと、また周陽商事㈱の連結子会社化などにより、経常利益ベースで増収増益となりました。

四半期純利益につきましては、連結子会社である㈱つく実やに係るのれんおよび有形固定資産の減損損失を特別損失に計上した一方で、大分県が施行する国道217号道路改良工事に伴う用地買収により、収用補償金を特別利益に計上したことなどにより、272,773千円（同168.9%増）となりました。

なお、当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,973,160千円となり、前連結会計年度末に比べ769,755千円増加しました。これは、当社が収用補償金を受領したことおよび長期借入金の調達などによって現金及び預金が増加したこと、さらに当社の第4商品センター新設工事に伴う着手金などで建設仮勘定を計上したことなどによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,077,387千円となり、前連結会計年度末と比べ519,536千円増加しました。これは、主に長期的な資金確保のため長期借入金が増加したこと、ならびに利益の計上に伴い未払法人税等を計上したことなどによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,895,773千円となり、前連結会計年度末と比べ250,218千円増加しました。これは、主に四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月14日に公表しました「特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、当第3四半期連結累計期間におきまして特別損失を計上しましたが、平成27年5月15日に公表しました連結業績予想についての変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、周陽商事(株)の株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	858,363	1,602,045
受取手形及び売掛金	114,472	167,174
たな卸資産	573,517	527,994
未収入金	191,305	180,974
その他	29,743	41,270
貸倒引当金	△860	△5,380
流動資産合計	1,766,541	2,514,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	675,241	632,873
機械装置及び運搬具(純額)	101,135	81,030
土地	383,673	392,852
リース資産(純額)	63,318	41,625
その他(純額)	17,709	116,453
有形固定資産合計	1,241,078	1,264,835
無形固定資産		
のれん	39,266	23,732
その他	116,221	116,113
無形固定資産合計	155,488	139,845
投資その他の資産	40,296	54,399
固定資産合計	1,436,863	1,459,080
資産合計	3,203,405	3,973,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	225,567	255,504
短期借入金	238,400	70,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	73,888	151,604
未払法人税等	29,852	173,451
ポイント引当金	17,684	19,545
賞与引当金	14,434	5,696
その他	155,875	202,931
流動負債合計	855,702	978,733
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	541,804	955,212
株式給付引当金	454	1,201
その他	59,889	42,240
固定負債合計	702,148	1,098,654
負債合計	1,557,850	2,077,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,597	640,597
資本剰余金	613,765	613,765
利益剰余金	405,047	659,514
自己株式	△20,666	△29,020
株主資本合計	1,638,744	1,884,857
新株予約権	6,810	10,916
純資産合計	1,645,554	1,895,773
負債純資産合計	3,203,405	3,973,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,219,175	3,473,915
売上原価	2,118,627	2,275,875
売上総利益	1,100,548	1,198,040
販売費及び一般管理費	957,334	1,023,242
営業利益	143,213	174,797
営業外収益		
受取利息及び配当金	140	144
補助金収入	10,287	4,350
協賛金収入	31,107	35,363
電力販売収益	4,642	4,348
その他	4,275	3,177
営業外収益合計	50,454	47,383
営業外費用		
支払利息	8,447	8,479
電力販売費用	5,163	4,827
その他	860	778
営業外費用合計	14,472	14,085
経常利益	179,195	208,096
特別利益		
新株予約権戻入益	300	150
収用補償金	—	349,615
特別利益合計	300	349,765
特別損失		
固定資産除却損	3,259	20,842
減損損失	—	76,829
その他	—	815
特別損失合計	3,259	98,487
税金等調整前四半期純利益	176,236	459,374
法人税、住民税及び事業税	72,316	192,087
法人税等調整額	2,477	△5,486
法人税等合計	74,794	186,601
少数株主損益調整前四半期純利益	101,442	272,773
四半期純利益	101,442	272,773



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101,442	272,773
四半期包括利益	101,442	272,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,442	272,773
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した設備等の有形固定資産について帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。また収益の計上が計画よりも遅れていることを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失が発生しております。なお、当該事象による減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において72,832千円(うち、のれんの減損損失は、35,107千円)であります。

## 4. 補足情報

(販売の状況)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材等の販売事業を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいことにより、セグメント情報の開示を省略しているため、以下の販売実績については、取扱商品区分別により記載しております。

当第3四半期連結累計期間の販売実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	前年同期比(%)
鮮度保持剤(千円)	220,802	93.4
菓子関連の包装資材等(千円)	1,530,736	102.2
弁当関連の資材等(容器等)(千円)	176,972	93.0
菓子関連の食材等(千円)	1,460,267	121.1
その他(千円)	85,136	94.9
合計(千円)	3,473,915	107.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。